

モニタリング結果報告書

施設 秦野戸川公園
指定管理者 公益財団法人神奈川県公園協会
施設所管課 都市公園課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

施設の魅力向上のため、提案通りイベント等を催し、広報活動などにも積極的に取り組んだ。

また、利用者数は前年度並みなこと、良好な収支状況であることから B 判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11/10	11/28	○	○	○	なし	
11月	12/12	12/22	○	○	○	なし	
12月	1/10	1/23	○	○	○	なし	
1月	2/10	2/17	○	○	○	なし	
2月	3/12	3/22	○	○	○	なし	
3月	4/10	4/24	○	○	○	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

丹沢のダイナミックな風景を背景に、多彩なレクリエーションを楽しめる「自然共生型アウトドアレクリエーションパークの創造」を総合的な管理運営方針とし、県民のサービス向上、経費の節減に努めた運営を行う。

- ・ 多彩なレクリエーション環境の提供
- ・ 地域や関連施設との連携における公園利用の拡大
- ・ 丹沢山麓の自然環境としての景観維持

<実施状況>

- ・ 農体験（親子サツマイモ&落花生作り隊） 植え付けから収穫まで 参加者 71名
- ・ 秦野戸川公園まつり 参加者 約1,500人
- ・ アレンジメント教室（バラと野草、ハーブと野の花、枝木と木の実） 参加者 16~30名
- ・ チューリップ植え付け 参加者 約250人
- ・ 風の吊り橋ライトアップ 参加者 約2,000名
- ・ 親子体験教室（炭焼きとピザ作り） 参加者 21名
- ・ 3館合同体験イベント 参加者 30名

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	96,230 (94,780)	84,030 (82,980)	500 (300)	11,700 (11,500)	96,230 (94,780)	0 (0)
下半期予算 額	47,613	43,873	240	3,500	47,613	0
10月	7,027	6,035	61	930	7,226	△198
11月	7,301	6,293	63	944	7,007	293
12月	11,038	10,605	38	395	11,410	△371
1月	7,294	6,935	36	322	6,652	641
2月	6,372	5,960	43	369	7,213	△840
3月	8,479	8,045	39	394	9,226	△746
今年度 半期計	47,514	43,873	283	3,358	48,736	△1,222
前年度 同期計	45,366	41,954	310	3,102	44,007	1,359

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。

②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	914,550円	落雷により故障した電気制御盤の改修（914,550円）
下半期	—	
総額	914,550円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	32,540人	35,300人	△7.8%
11月	30,350人	32,900人	△7.7%
12月	15,970人	14,540人	9.8%
1月	13,550人	14,230人	△4.7%
2月	12,930人	13,080人	△1.1%
3月	20,590人	16,880人	21.9%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	人	268,240人	307,550人	%	△12.7%
今年度下半期計	人	125,930人	126,930人	%	△0.7%

利用状況に関する意見等

①今年度下半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①② 該当なし

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

下半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>利用促進にあたってチューリップを前年の倍の3万球に増やし、多くの県民参加のイベントとして植え込みを行うなど、イベント参加の平等性を図る努力をしている。</p> <p>また、公園最大イベントである「公園まつり」は地域住民や秦野市等関係機関と連携をもって実施し、多くの来園者を迎える努力をしている。</p> <p>台風や大雨による増水の影響により、大量の土砂が堆積し、その都度通行止めとなる幹線園路である「沢の橋」の復旧に指定管理者所有の建設機械により行い、早期通行確保に努めた。</p>
施設所管課	<p>下半期においては、上半期減っていた公園利用者数も前年度並みに持ち直した。これは効果的なイベント及び広報を積極的行った結果だと思われる。</p> <p>今後は利用者が増える夏場に向けて引き続き、新規来園者を確保し、合わせてリピーターを確保する魅力的な公園づくりを進めて欲しい。</p> <p>また、県からの要請に基づく節電の取り組みも行い効果を発揮している。</p>